

九州オルレ KYUSHU TOLLE

さいき・大入島コース

GUIDE MAP

自然に包まれた小さな島の
歴史溢れる小さな宮殿

九州オルレ さいき・大入島コース

九州オルレさいき・大入島コース推進協議会

ようこそ さいき大入島へ。

佐伯湾に浮かぶひょうたん型の離島・大入島の周囲はわずか17km。
リアス式海岸の美しい海岸線を見ながら、自分のペースでゆっくり歩いて、ゆったり流れる“島時間”を堪能しませんか。

佐伯市への交通アクセス



車

福岡	約2時間	大分	約40分	佐伯IC
北九州	約2時間			
宮崎	約1時間15分	延岡	約50分	
熊本	約3時間10分			
(国道57号)				

JR

博多駅	約50分	小倉駅	約2時間30分	佐伯駅
宮崎駅	約1時間	延岡駅	約1時間	

飛行機

東京	約1時間30分	大分空港	空港バス 約2時間	佐伯市
名古屋	約1時間10分		車 約1時間40分	
大阪	約1時間			

＼オルレを楽しもう！／

オルレとは？

「オルレ」は韓国・濟州島から始まったもので、もともとは濟州島の方で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。自然豊かな濟州島で、トレッキングする人が徐々に増え、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになり、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。オルレの魅力は、海岸や山などを五感で感じ、自分のペースでゆっくりとコースを楽しむところにあります。

オルレのマナー

- 1 民家の庭にみだりに入らない。
- 2 人や個人のを撮影するときは同意をもらう。
- 3 ゴミは必ず持ち帰る。
- 4 道沿いの農作物を勝手に採らない。
- 5 道端に咲いている花や木の枝を採らない。
- 6 民家付近等で大声で叫んだり、騒いだりしない。
- 7 次に訪れる人のために、リボンを持ち帰らない。
- 8 道案内の看板にはさわらない。
- 9 未舗装の道は、決まった経路を通る。
- 10 風景を楽しみながらゆっくりと歩く。
- 11 車道を歩くときは、車に気をつけて歩く。
- 12 コースから外れた急傾斜地等での危険な行動は控える。
- 13 途中出会う旅行者や地元住民の方々と笑顔で挨拶を交わす。



オルレの歩き方

コース内の要所には「カンセ」と呼ばれる濟州島の馬をモチーフにしたオブジェや青と赤のリボン、木製の矢印やペイントされた矢印などの標識を設置しています。目印に沿って歩きましょう。



カンセ (馬のオブジェ)



馬の頭が進行方向になります。

木製の矢印



青の矢印は正方向、赤の矢印は逆方向です。

リボン



木の枝などにくくりつけられていて、青と赤を結んだリボンはコースの目印です。

大入島の見どころ

神の井

神武天皇が東征の折、飲み水を求めて日向泊の海岸に立ち寄った際、折弓を地に突き立て「水よ出てよ」というと、清らかな水が湧き出したという伝説が残っています。今でも真水が湧いています。



トンド火まつり

神武天皇の船出の際に、湧水に喜んだ近在の人々が感謝を込めて焚火で航海の無事を祈った事の名残りであるといわれる勇壮な火祭りです。高さ十数メートルのやぐらが火の粉を飛ばしながら激しく燃え上がる姿は壮観です。毎年一月に開催され、一年間の無病息災を祈ります。



大入島イメージキャラクターじんむくん

